



【読書】キャラクター「おっほん」

おっほんシート

市立札幌北翔支援学校

読書センターとしての機能

○新着図書紹介

毎年、新着本・寄贈本を玄関ホールに展示しています。先生たちからのリクエストやぜひ児童生徒の皆さんに読んでみてほしい本、新しく出版された絵本などを予算で購入しています。

今年はどんな素敵な本との出会いが待っているでしょうか。



○本の貸し出し

北翔には「図書室」はありません。小学部側と中・高等部側の廊下にそれぞれ図書コーナーが設置されています。車いすでも見やすく選びやすいように棚の高さなどが工夫されています。蔵書数は決して多くはないのですが、本の楽しさを知り、楽しい読書タイムを過ごしてほしいという思いをもって、図書担当の先生たちが整備、点検をしています。

学習センターとしての機能

小学部

小学部では主に休み時間や自立活動の時間を活用して児童が本を選び、学習に役立っています。国語の時間に学習でじっくり学ぶ絵本もあります。

図書コーナーには毎週たくさんの「読んだ絵本」たちが返却されています。今週もたくさんの本と出会い、楽しんでくれたのかな、と嬉しい気持ちで本をもとの場所にもどしています。



中学部

中学部では、国語の時間に本の探し方を学習し、自分の好きな本を選んで読んだり、各教科の必要な本を借りて調べ学習をしたりしています。いろいろな本と出会い、新しい世界を見つけたいと思います。



情報センターとしての機能

○「国語」「社会」「理科」「家庭科」「職業」

～調べてみよう（高等部）

高等部の各教科では、テーマに基づいて様々な調べ学習が行われています。例えば国語では「自分の名前に使われている漢字」「好きな言葉を含むことわざ」を調べてみたり、社会では「札幌を代表するおいしいもの」について調査を行いました。インタビューやアンケート、インターネットや本からの情報収集を行い、まとめを発表しました。インターネットが手軽で便利な情報媒体ではありますが、正しい情報、情報の時期や鮮度、どんな情報がわかりやすいのかについても考えながら学習を進めています。



○キャリア教育

高等部では職業の時間を中心にキャリア教育の一環として、自分を知り、将来の生活について考える学習を行っています。今後、図書担当からもおすすめの本を購入・紹介していきたいと考えています。

